

あ と が き

「共感と温感、そして響き合う九州」をコンセプトに開催しました「令和5年度第75回九州地区小学校長協議会研究大会佐賀大会」。九州各県の校長先生方の御協力のもと無事に終えることができましたことに、私たち佐賀県小学校校長会会員一同、大変感謝申し上げます。アフターコロナの時代を拓くべく、4年ぶりに完全参集型として開催した本大会でした。開催までには多少の不安はあったものの、昨年長崎県小学校長会の皆様が開いてくださった参集型への扉をしっかりと引き継ぎ、次年度の沖縄大会へバトンを渡すことを念頭に準備を重ねてまいりました。ここに会員の皆様の御支援、御協力に感謝しながら大会集録をお届けいたします。

さて、本大会は全連小の大会主題でもある「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」のもと「多様な価値を持つ他者と協働し、持続可能で豊かな社会を創造する子供を育てる学校経営」を副主題に設定しました。その主題・副主題について、九州地区の校長が有する多様な経営理念と指導性について対話を通して究明し、共有することをねらいとして大会を開催しました。少子高齢化率の上昇に伴う労働人口の減少、グローバル化、AIの飛躍的な進展等により、社会の構造や環境は著しく変化をしており、今後もその変化は一層大きくなるものと予想されます。このような社会状況の中、子どもたちが世の中を主体的に生きていくために、学校教育に求められているものを明らかにし、その実現のために我々校長がどのようなリーダーシップを発揮していけばよいのか…9つの分科会の全体協議やグループ協議において参加者の熱心な意見交換や討議が行われました。やはり、対面での協議はどのグループにおいても盛り上がりを見せ、校長先生方の熱い思いが伝わってきました。皆様の顔を見ていると、どの方も一様に生き生きとし、活気に満ち溢れ、そして充実感溢れるものであったと拝察いたしました。まさに、一つになった九州の校長先生方の共感と温かさに包まれた空間がそこにあったのです。

大会の運営に関しましては、多くの校長先生方と久しぶりに集うことができる大会として、「おもてなしの心」をもって精一杯努めたつもりではございますが、佐賀県小学校校長会は九州で最小規模の校長会でもありますので、行き届かない点や御迷惑をおかけした点多々あったのではないかと考えております。御容赦ください。

最後に、各分科会での提言や司会等を引き受けてくださった皆様方をはじめ、本大会に御参加いただきました全ての皆様方、そして、全連小をはじめ各県・各市町村教育委員会の御協力と御支援に心から感謝申し上げますとともに、次年度に開催される沖縄大会の盛会と皆様方の益々の御発展・御健勝を祈念し、結びとさせていただきます。

第75回九州地区小学校長協議会研究大会

佐賀大会実行副委員長 深 草 光 明